

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 25 日

評価対象事業		評価者	市民活動部観光商工課担当課長	小澤 圭介
市民-12 観光案内所運営事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課	観光商工課
総合計画上の位置付け		分野	観光	施策の方針
				安全で快適な観光空間の整備

1 事業の目的		2 平成26年度に実施した事業の概要		
対象	観光客等	JR鎌倉駅構内東口の観光案内所の運営を委託し、観光客に対し適切な情報提供を行った。		
意図	観光案内業務を通じて観光客の利便性を高めるため			
効果	観光客にとっては、観光目的を達することによる満足感の高揚が図られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる			

3 事業費等基礎データ					
データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等の	177,243人	80,676世帯	177,464人	80,368世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数					
事業の対象者数					
運営資源状況	当初予算(千円)	7,550	決算値(千円)	7,519	/
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他		その他		
	一般財源	7,550	一般財源	7,519	
	人員配置数	0.2	人員配置数	0.2	
人件費(千円)	1,631	人件費(千円)	1,529		
事業経費運営	総事業費(千円)	9,181	総事業費(千円)	9,048	
	市民1人当りの経費(円)	52	市民1人当りの経費(円)	51	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果 ※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	昼休憩時間は案内所職員の人数が減るため、繁忙期や土日祝祭日の混雑時において、案内所利用者への利便性が低下していた。				
課題解決のために行った平成26年度の取組	昼休憩時間に案内所職員を増員し、案内所利用者へのサービスの向上を図った。				<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題 新たな課題	案内所のスペースが手狭であり、今後増加が予想される外国人観光客の案内業務の充実など、新たなサービス需要に応じた業務の拡大が図り難い状況にあるため、案内所スペースの拡張が求められる。				
効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない			
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない			
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある			
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある			
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である			
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している			
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである		
	協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない	
事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	増加が見込まれる外国人観光客の対応を含め、多様化する観光客のニーズに応えるため、事業規模の拡大を要する。
	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	当面は現状の予算規模での実施とするが、拡大時には初度調弁等、必要に応じて予算規模を拡大する。		
総評	2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を見据え、増加が見込まれる外国人観光客への更なるサービス拡充が求められる。				

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項	入込観光客数等(平成25年) (単位:千人・千円)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	23,083	15,524	2,661	7,041	4,650	7,629	581	994	5,388
比較事項									
団体名	横浜市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	45,659								
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	県内全市町村対象に行う入込観光客数調査において、鎌倉市は横浜市に次ぐ延観光客が訪れており、観光案内所利用者も相対的に他市町に比べ多いことが伺える。なお、近隣市で観光客数が1,000万人を超えている藤沢市では、観光案内所(4箇所)の運営に年間約3,520万円(H25実績)を要している。								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	鎌倉に来る前の期待に対する満足度(来訪者アンケート+WEBアンケート)						単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			平成28年度以降は、次期観光基本計画の目標値に従う。	
当該事業の実施により、観光客の満足度を向上させるため。	目標値	85%	85%	-	-	-	-				
	実績値	集計中	-	-	-	-	-				
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方											

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---